

【ころ】作文課題

教科書掲載部分の「こころ」を一読して、かなり入り組んでいるということを感じていることだろう。そこで、整理するために、ある表現を説明するという形で、作文問題を解いて、仲間に説明することを通して、読みを深めよう。

方法

班員が次の4つの課題のうち1つずつ選んで、それぞれがノートに記入する。（3人の班の場合、合計3つを選べばいい）

完成したら提出する。（班ごとに重ねて提出する」と。） 締め切り……
班員それぞれに、自分が解いた課題を説明し、質疑応答し、周りを納得させる。

【課題と書き方】

問題の表現と書き方を示す。枠内の（　　）の中を考え、その前後の語句は（　　）に含うように適当に書き換え、文意が通る課題にすること。なお、（　　）には、1単語が入つたり、複数の単語が入つたり、複数の文が入つたりする。

見開き2頁を使う（字数が足りない場合は3頁）

右上に「班」と記すこと。あとはこいつもの通り日付、学年組・番・名前を記すこと。

127上 30 「精神的に何上心のな二者はほかだとこ
う言葉が、とにかく癒して連こなかつたのです。
しかし前にも言つたとおり、私はこの一言で彼
がせつからく積み上げた過去を打破つたつもりで
はあります。かえてそれを今までひつり積み
重ねてみかせようとしたのです。」

の表現を説明する。

「精神的に向上心のない者はばかだ」という言葉は、()が()のときに()に対して言つた言葉である。そのときに()は()に対して()という意味を含んで使つたので、Kにとつて痛いに違ひなかつたのだ。

の表現を説明する。

そのときの私はKがすべての疑惑、煩悶、懊惱を一度に解決して（ ）「覚悟」だとと思って驚いたのだが、もう一度Kが言った「覚悟」を内容を公平に見回せばよかつた。なぜなら、Kは最期には（ ）してしまつた。ということは、（ ）の性格のKはすべてを解決するためには（ ）をこのときに「覚悟」していくかもしれないからだ。このことに気づいていれば、（ ）かもしれない。しかし、それに気づかなかつた私は焦つて（ ）してしまつた。

しかし、私はこの一言でKが世に
かく積み上げてきた（ ）という
過去をけ散らすつもりはない。かえ
つてそれを今までどおり積み重ねて
いってもらつて、Kが（ ）こと
をねらつたのだ。

140上¹⁴「いつも立て切つてあるKと私の室の仕切りの襖が、この間の晩（～時の晩）と同じように開いた。ということは、Kは（ ）に襖を開けたのだ。この間の晩は、Kは私が起きたときに（ ）が、今回はそんなことはしなかった。そしてKは襖を閉じずにそのままにしていた。ということはKは私に（ ）もらいたかったのかもしれない。なぜそんな行動をしたのか？Kは室の中で自殺した。人知れず、誰に言うことなく自殺するのではなく、私の隣の室で自殺した。それは（ ）からだ。」

141下¹⁰「最後に墨の余りで書き添えたらしく見える、もっと早く死ぬべきだのになぜ今まで生きていたのだろう」

の表現を説明する。

「墨の余りで書き添えたらしく見える」というのは、その字の濃さが（ ）だつたり、形が（ ）だつたり、書いた場所が（ ）だつたりしていったからだ。つまり、この遺書の最後の部分の言葉は、Kの（ ）という気持ちを表現している言葉だつた。

内容の「もっと早く」というのは、「（ ）よりも早く」という意味である。なぜなら、Kは（ ）からだ。そしてそれよりも早く死んでしまつていれば、（ ）ことはなかつたということを後悔していた。